

中学生テメキュラ市 訪問記③

町内3校の中学生7人が、7月27日から8月5日までの10日間、米国テメキュラ市を訪問しホームステイをしました。数回に分けて、生徒の感想の一部を紹介しています。

アメリカで知ったこと

中山中3年 高見杏実

私の初の海外生活は成田空港から始まった。東京なのに、まだ日本なのに、周囲は外国人でこった返していた。行きのバスでは一人で持つことが困難だった荷物にも愛着がわいてきた。ロサンゼルス空港から外に出たときには「ついに来たぜ、アメリカ！」と思った。

野球観戦のときには、野球場の座席の下にゴミを捨てていいみたいでびっくりした。アメリカのトイレの個室の扉は、上と下が中で何をしているのかわかるように、大きく隙間が開いていた。それに手を洗う石けんに必ずアメリカンない匂いがつ



▲ホストファミリーのライティ家の愛犬リリーと

いていた。しばらく、それは香っているもので、いつも手がいい匂いだった。さらに、その洗った手をふくのには人々はハンカチではなく、紙を使っていた。しかもそこでは、必要な量はとうにすぎた大量の紙をとったわりに、利用するのは少ない面で一瞬という、なんとも無駄使いな光景が繰り返されていた。トイレはいつも紙が散らばって汚かった。これには少々腹がたった。ナッツベリーファームに行く

と、絶叫系の乗り物ばかりで、それがこわい私は、荷物を持ちながらみんなのこわがる様子を見ていた。この待ち時間で、アメリカの日差しの強さを感じた。例えるなら、皮膚をガスバーナーであぶっているような感じだ。だが、少し風があるのでつらくはない。晩ご飯にハンバー

ガーを、私とみのりちゃんと両方のホストファミリーと一緒に食べた。このハンバーガーを食べるのに30分以上苦戦した。みんなはとうの昔に食べ終わっていたので申し訳なかった。でも私が、ついに食べ終わったぞという時、みんながものすごく笑顔で喜んでくれてとてもうれしかったし、照れくさかった。テ



▲ファミリーファンディに、船の博物館でリリックと

ホストファミリーが辞書をひきながら、わかりやすく教えてくれたのでよかったです。その後は、買い物をしたりしました。楽しかったです。

七日目のホストファミリーとのお別れの日は、とても悲しくて泣いてしまいました。感謝の気持ちでいっぱいでした。本当に、いい思い出がたくさんできて、いい交流ができました。

は家に帰り、ゲームで遊びました。日本と同じゲームだったので驚きました。家の中の紹介もしてもらいました。二階はありませんでした。二階は大きな家でした。ベッドは大きくてフカフカしていてとても気持ちよかったです。一日目からよく眠れました。

二日目は、野球観戦に行きました。エンジェルスとレッドソックスの戦いでした。どちらも有名な日本人選手がいるチームなので、見ることでよかったです。

五日目と六日目は、ファミリーファンディでした。サンディエゴに行きました。船の博物館を観ました。説明が全部英語だったのでよくわからなかったけど、

この研修をとおして、いろんなことを学び、体験することができました。このことを今後に生かしていければいいと思います。そして、これからもずっとこの交流を続け、いつかまた、もう一度アメリカに行きたいと思いました。

いい思い出がたくさん！

中山中3年 氏 奏咲

私がホームステイさせてもらった家は、リリックの家です。リリックは私の家に泊まったことがあったので、とても接しやすかったです。ホストファミリーと対面の後